

小規模法人向けソフト

商蔵奉行[®]J11

機能アップガイド

Ver.4.10



『商奉行 J11』 『蔵奉行 J11』 共通の機能アップ内容

- Microsoft Exchange Onlineの基本認証「SMTP認証」の廃止に伴い、先進認証「OAuth 2.0」に対応しました。

当製品は、メールを送信する機能でExchange Onlineの基本認証「SMTP認証」を使用できませんが、Microsoft社のサポート終了に伴い2025年9月以降は無効になるため、先進認証「OAuth 2.0」に対応しました。

業務スケジュール実行後の完了通知などのメールが送信できなくなるため、先進認証「OAuth 2.0」に設定を変更します。

詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

◀ 関連メニュー ▶

[管理ツール]-[メールサーバー設定]メニュー

小規模法人向けソフト

商蔵奉行[®]J11

機能アップガイド

Ver.4.09

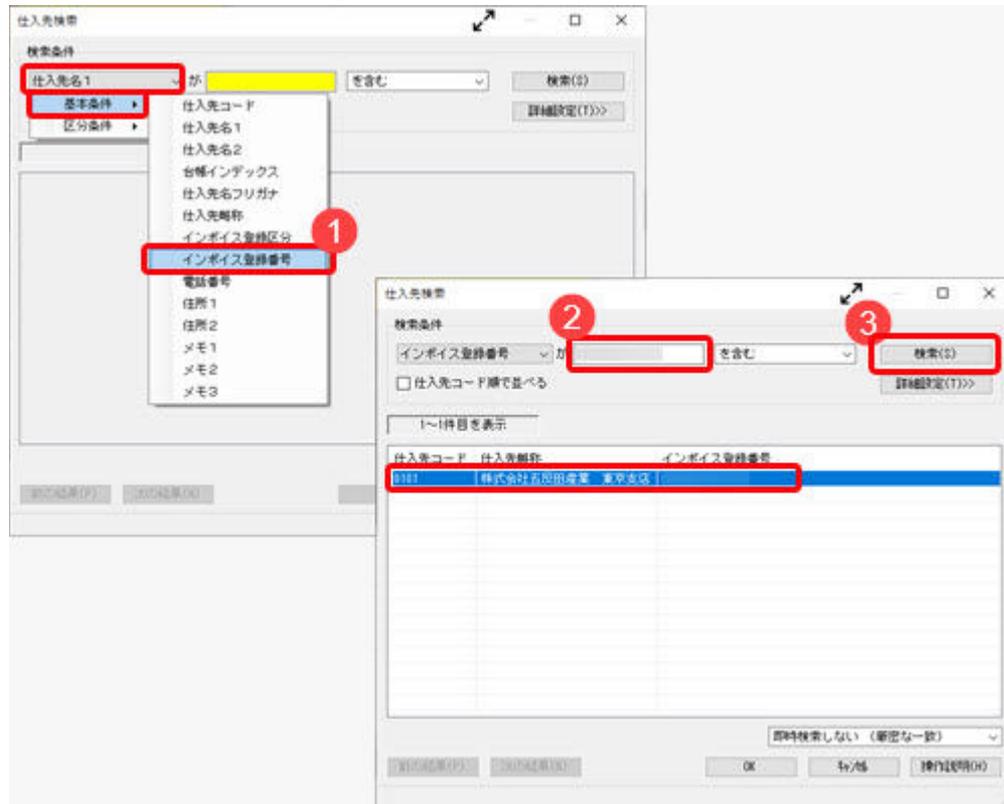


『蔵奉行J11』の機能アップ内容

《改正情報》

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に関連して追加対応をしました。

[仕入先検索]画面で、仕入先マスターをインボイス登録番号で絞り込めるようになりました。



《関連メニュー》

[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニューなど、仕入先を検索できるすべてのメニュー

《仕入管理》

- アップロードできる証憑の上限ファイルサイズを10MBから20MBに変更しました。

＜『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

《関連メニュー》

- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票証憑一括添付]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票証憑一括添付]メニュー

小規模法人向けソフト

商蔵奉行[®]J11

機能アップガイド

Ver.4.08 / Ver.4.07



『商奉行J11』『蔵奉行J11』共通の機能アップ内容

《改正情報》

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に追加対応しました。

インボイス制度対応において、8月に提供を予定していた項目に対応します。
対応内容は、「[インボイス制度あんしんSTEPガイド](#)」をご参照ください。

小規模法人向けソフト

商蔵奉行[®]J11

機能アップガイド

Ver.4.06



『商奉行 J11』の機能アップ内容

《改正情報》

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に対応しました。

対応項目は、「インボイス制度運用ガイド」の「当システムの対応ポイント」をご参照ください。

※「インボイス制度運用ガイド」は、セットアップ後に『商奉行』のメニュー画面右上の  をクリックし、[機能追加／改正情報]で確認できます。

『蔵奉行 J11』の機能アップ内容

《改正情報》

- 令和5年10月1日施行のインボイス制度に対応しました。

対応項目は、「インボイス制度運用ガイド」の「当システムの対応ポイント」をご参照ください。

※「インボイス制度運用ガイド」は、セットアップ後に『蔵奉行』のメニュー画面右上の  をクリックし、[機能追加／改正情報]で確認できます。

《仕入管理》

- でんさいネットの機能改善（でんさいの債権金額の下限を1万円以上から1円以上に引き下げ）に対応しました。＜「OMSS」にご加入の場合＞

でんさいネットで受付可能な債権金額の下限が引き下げられ、1円から電子記録債権の発生記録請求ができるようになりました。

これに伴い、電子記録債権の発生記録請求データを1円から作成できるようになります。

《 関連メニュー 》

- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[電子記録債務処理]-[電子記録債務データ作成]メニュー

小規模法人向けソフト

商蔵奉行[®]J11

機能アップガイド

Ver.4.05



『商奉行 J11』 『蔵奉行 J11』 共通の機能アップ内容

- 送り状データ連携が「佐川急便株式会社」の「e飛伝Ⅲ」に対応
＜「OMSS」にご加入の場合＞

送り状データ連携が「佐川急便株式会社」の「e飛伝Ⅲ」に対応しました。

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [随時処理]-[送り状発行システム連携]-[送り状データ作成]メニュー
- ・ [随時処理]-[送り状発行システム連携]-[送り状No. 受入]メニュー

『商奉行 J11』 の機能アップ内容

- 請求書をファイル転送する際の文字コード変更に対応
＜「OMSS」にご加入の場合＞

連携するサービスにあわせて、「Unicode (UTF-8)」など文字コードを指定して請求書をファイル転送できるようになりました。

◀ 関連メニュー ▶

- [販売管理]-[請求締処理]-[請求書発行]メニュー

小規模法人向けソフト

商蔵奉行[®]J11

機能アップガイド

Ver.4.04



【『歳奉行J11』の機能アップ内容】	
＜改正情報＞	
令和4年1月施行「改正電子帳簿保存法」に対応	2
仕入伝票・支払伝票に添付されている電子証憑ファイルもあわせて『勘定奉行』に連携できる機能を追加 ＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞	2
仕入伝票・支払伝票に添付されている電子証憑ファイルを一括でダウンロードできる機能を追加 ＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞	2
メニューの名称を変更 ＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞	3

『蔵奉行 J11』の機能アップ内容

《改正情報》

- 令和 4 年 1 月施行「改正電子帳簿保存法」に対応
 - 帳簿の電磁的記録
当システムを利用するだけで、仕入先元帳（帳簿）を「紙」で保管する代わりに『蔵奉行 J11』のデータ（電磁的記録）で保存できます。
今回整備された「緩和された要件を満たす電子帳簿（その他の電子帳簿）」の法的要件にも対応しています。
 - 書類の電磁的記録
当システムを利用するだけで、発行した支払明細書の控えを「紙」で保管する代わりに『蔵奉行 J11』のデータ（電磁的記録）で保存できます。
 - スキャナ保存
＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞
「紙」で受領した証憑を保管する代わりに、スキャンした証憑ファイルを取り込み、仕訳伝票と紐付けて保存できます。
「紙」の証憑を破棄するために定期的に検査する必要がなくなりました。
 - 電子取引データの保存
＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞
電子取引データ（電子請求書や電子納品書・電子見積書）を、仕訳伝票と紐付けて保存できます。
自動的にタイムスタンプが付与されるため、煩雑な「事務処理規程」は不要となり、負担なく運用できます。
- 仕入伝票・支払伝票に添付されている電子証憑ファイルもあわせて『勘定奉行』に連携できる機能を追加
＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

『勘定奉行』への仕訳伝票作成時に、伝票に添付されている請求書・納品書・見積書もあわせて連携され制度要件のもとで保管できるようになりました。

《 関連メニュー 》

[随時処理]-[仕訳伝票作成]メニュー

- 仕入伝票・支払伝票に添付されている電子証憑ファイルを一括でダウンロードできる機能を追加
＜『証憑保管 for 奉行シリーズ』をお使いの場合＞

[証憑検査]メニューで、画面表示後ダウンロードします。

◀ 関連メニュー ▶

[随時処理]-[証憑検査]メニュー

● メニューの名称を変更

< 『証憑保管 for 奉行シリーズ』 をお使いの場合 >

<変更前> [導入処理]-[運用設定]-[証憑保管クラウド連携設定]メニュー

<変更後> [導入処理]-[運用設定]-[証憑保管連携設定]メニュー

小規模法人向けソフト

商蔵奉行[®]J11

機能アップガイド

Ver.4.01 / Ver.4.00



【『商奉行J11』『蔵奉行J11』共通の機能アップ内容】	
《全般》	
「奉行Myスペース」機能を追加	2
「送り状データ連携」機能を追加	3
最新プログラムの自動アップデートに対応	3
全角／半角、大文字／小文字、ひらがな／カタカナを区別せずに検索するあいまい検索機能を追加	4
《販売管理・仕入管理》	
[同時仕入処理]メニューに伝票を自動で作成する機能を追加	4
《管理資料》	
帳票作成とその配信までの定期的な業務を、スケジュールを組んで自動化できる機能を追加	5
定期的に帳票を集計し、その出力項目が事前に設定した「しきい値」を超えていた場合に、自動的にアラートを通知できる機能を追加	5
【『商奉行J11』の機能アップ内容】	
《販売管理》	
回収予定日の計算方法に月複数回締用を追加	6
【『蔵奉行J11』の機能アップ内容】	
《全般》	
電子証憑にタイムスタンプを付与し、クラウドに保管できる『奉行Edge 証憑保管クラウド』を用意	6
《仕入管理》	
支払予定日の計算方法に月複数回締用を追加	7

参 考

『奉行J -販売編-』『奉行J -仕入編-』（Ver.2.61）からの機能アップ内容が記載されています。

『商奉行J11』『蔵奉行J11』共通の機能アップ内容

《全般》

● 「奉行Myスペース」機能を追加

「奉行Myスペース」は、奉行上で自身の「お知らせ（リマインド）」や「タスク（作業）」を管理できます。



※画面は、『勘定奉行』の画面です。

日々、自身が行うタスクが「奉行Myスペース」で一目で確認できるため、作業の漏れや遅れによるトラブルを防止し、スムーズに日々の業務を遂行できます。

活用例は、操作説明の「奉行Myスペース」-「活用例」をご確認ください。

- 「送り状データ連携」機能を追加

『送り状発行システム』と連携して、当システムの伝票データと『送り状発行システム』の送り状No.を紐付けます。伝票データと送り状No.が紐付くことで、伝票画面から『送り状発行システム』の荷物お問い合わせシステムに接続して、Web上で商品の配送状況を直接確認できるようになります。

得意先から「商品の配送状況」の問い合わせが多い場合や、問い合わせへの回答に時間がかかっている場合にスムーズに回答できるようになります。

送り状No. をクリックすると、インターネットに接続して、Web 上で配送状況を確認できます。

行	区	商品コード	注文No.	商品名	入数 箱数	数量	単位	単価	金額	消費税
1	0	C-00001		プリントTシャツ (コットン素材)	1	3	枚	2,000	6,000	税別 10%

荷物お問い合わせシステム

Web ページ

送り状No. No.304757873173 配送状況 発送

- 最新プログラムの自動アップデートに対応

お客様のご利用環境に応じて、最新プログラムに自動アップデートします。

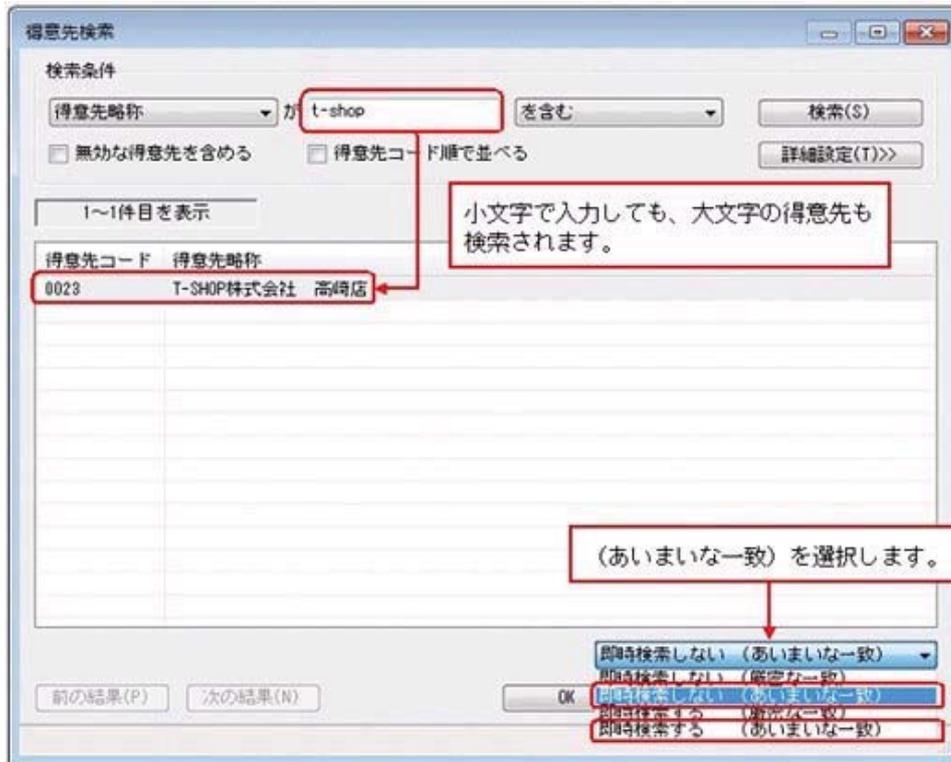
担当者様のセットアップにかかる負担を軽減し、スピードをもって対応できるようになりました。

- 全角／半角、大文字／小文字、ひらがな／カタカナを区別せずに検索するあいまい検索機能を追加

得意先名や商品名などの名称で検索する際に、全角／半角、大文字／小文字、ひらがな／カタカナを区別せずに検索できるようになり、検索のヒット率が向上しました。

▼例

大文字／小文字



あいまい検索できる項目は、以下の内容です。

検索するマスター	あいまい検索できる項目
商品	商品名、メモ1～3
得意先	得意先名1・2、得意先略称、メモ1～3
請求先	請求先名1・2、請求先略称、メモ1～3
直送先	直送先名1・2、直送先略称、得意先略称
仕入先	仕入先名1・2、仕入先略称、メモ1～3
支払先	支払先名1・2、支払先略称、メモ1～3

《販売管理・仕入管理》

- [同時仕入処理]メニューに伝票を自動で作成する機能を追加

[仕入管理]-[仕入処理]-[同時仕入処理]メニューで、伝票を自動で作成できるようになりました。

伝票を自動で作成する場合は、以下を設定します。

1. [条件設定]画面で、集計する条件を設定します。
2. [自動設定...] ボタンをクリックし、スケジュールを登録します。

● **帳票作成とその配信までの定期的な業務を、スケジュールを組んで自動化できる機能を追加**

今まで手動で行っていた帳票作成からその共有までの一連の流れを、スケジュールを組んで自動化できるようになり、定型業務を効率化できます。スケジュールは、週次・月次や毎月15日、末日などの定期的な予定を登録できます。

○以下の種類のファイルを作成できます。

- ・PDFファイル
- ・転送ファイル（テキストファイル形式）

○以下の配信方法で共有できます。

- ・メール
- ・「奉行Myスペース」のお知らせへの登録

《 新規メニュー 》

- ・ [随時処理]-[業務スケジュール登録]-[業務スケジュール登録]メニュー
- ・ [随時処理]-[業務スケジュール登録]-[業務スケジュール履歴]メニュー

《 関連メニュー 》

- ・ 集計表（売上集計表・仕入集計表）
- ・ 推移表（売上推移表・仕入推移表）
- ・ 一覧表（売掛金残高一覧表・在庫一覧表）
- ・ 回収予定表
- ・ 在庫順位表

● **定期的に帳票を集計し、その出力項目が事前に設定した「しきい値」を超えていた場合に、自動的にアラートを通知できる機能を追加**

今まで手動で帳票を作成し、目視で行っていた特定の項目の「しきい値」チェックをスケジュールを組んで自動化することで、確認の手間から解放され、定型業務の効率化と作業漏れ防止を実現します。

また、スケジュールでチェックの頻度や時刻を設定できるため、いち早く兆候に気づき、その後の対応につなげることができます。

なお、以下の通知方法から選択できます。

○メール

○「奉行Myスペース」のお知らせへの登録

「しきい値」のチェックでは、帳票の出力項目の値はもとより、出力項目同士を計算させた値も利用できます。

具体例は、操作説明の「アラートとは」-「活用例」をご確認ください。

《 関連メニュー 》

- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上集計表]メニュー
- ・ [販売管理]-[売上処理]-[売上推移表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入集計表]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入推移表]メニュー

※対象のメニューには、[条件設定]画面に [アラート設定] ボタンが表示されます。

『商奉行J11』の機能アップ内容

《販売管理》

● 回収予定日の計算方法に月複数回締用を追加

月に複数回請求締があり、回収サイクルが一定の場合に、回収予定日を算出できる設定が追加されました。

設定する場合は、[導入処理]-[得意先登録]-[得意先登録]メニューの[回収]ページにある回収予定日（設定）で「3：日指定(月複数回締用)」を設定します。

例えば、以下のように回収予定日を算出する場合に設定します。

運用例	回収予定日（日）
月に2回請求締を行う場合 ○15日締め ⇒ 当月月末回収 ○月末締め ⇒ 翌月15日回収	「15」日後を設定します。
月に2回請求締を行う場合 ○5日締め ⇒ 当月20日回収 ○20日締め ⇒ 翌月5日回収	「15」日後を設定します。
月に3回請求締を行う場合 ○10日締め ⇒ 当月20日回収 ○20日締め ⇒ 当月月末回収 ○月末締め ⇒ 翌月10日回収	「10」日後を設定します。
月に3回請求締を行う場合 ○10日締め ⇒ 翌月20日回収 ○20日締め ⇒ 翌月月末回収 ○月末締め ⇒ 翌々月10日回収	「40」日後を設定します。

『蔵奉行J11』の機能アップ内容

《全般》

● 電子証憑にタイムスタンプを付与し、クラウドに保管できる『奉行Edge 証憑保管クラウド』を用意

『奉行Edge 証憑保管クラウド』では以下を提供します。

- 仕入伝票・支払伝票に証憑ファイル（電子証憑）を関連付けた際に、自動的にタイムスタンプが付与されます。
- 電子証憑がクラウドに安全に保管されます。

また、紙と電子の証憑で金額が一致しているかの確認や、スキャンした電子証憑の鮮明さの確認、電子証憑の解像度や階調が適正かなどを効率的に確認できる機能（[随時処理]-[証憑検査]メニュー）も提供します。

《 関連メニュー 》

- ・ [導入処理]-[運用設定]-[会社運用設定]メニュー
- ・ [導入処理]-[運用設定]-[証憑保管クラウド連携設定]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[仕入処理]-[仕入伝票証憑一括添付]メニュー

- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票]メニュー
- ・ [仕入管理]-[支払処理]-[支払伝票証憑一括添付]メニュー

《仕入管理》

● 支払予定日の計算方法に月複数回締用を追加

月に複数回支払締があり、支払サイクルが一定の場合に、支払予定日を算出できる設定が追加されました。

設定する場合は、[導入処理]-[仕入先登録]-[仕入先登録]メニューの[支払]ページにある支払予定日(設定)で「3:日指定(月複数回締用)」を設定します。

例えば、以下のように支払予定日を算出する場合に設定します。

運用例	支払予定日(日)
月に2回支払締を行う場合 ○15日締め ⇒ 当月月末支払 ○月末締め ⇒ 翌月15日支払	「15」日後を設定します。
月に2回支払締を行う場合 ○5日締め ⇒ 当月20日支払 ○20日締め ⇒ 翌月5日支払	「15」日後を設定します。
月に3回支払締を行う場合 ○10日締め ⇒ 当月20日支払 ○20日締め ⇒ 当月月末支払 ○月末締め ⇒ 翌月10日支払	「10」日後を設定します。
月に3回支払締を行う場合 ○10日締め ⇒ 翌月20日支払 ○20日締め ⇒ 翌月月末支払 ○月末締め ⇒ 翌々月10日支払	「40」日後を設定します。